学習等活動記録及び達成度記録簿 (R7 入学用) 電子情報システム工学専攻「電子・情報技術応用コース」

番号 8 電子情報システム工学専攻 名 國安柾希 ステム工学専攻 名

○システム工学特別研究指導教員

年 度	学 年	研究テーマ・タイトル	指導教員		
令和7年度	1年	機械学習を使用した研究	松尾和典 准教授		
年度	年				
年度	年				

〇学習記録

項目		1 年入学時		2年進級時			2年修了時		
	記入日	令和 7/4/30	記入日	/ /	/	記入日	/	/	
必修					単付			単位	
選択								単位	
-ンシップ					日間			日間	
学会等学外での 研究発表					回			回	
英語による研究発表 (中間発表を含む)									
5/英検		790 点			点			点	
		2 級			級			級	
資格・検定試験等			•			•			
	選択 - ンシッ で 学発 研を 会表 - 英検	日 記入日 必修 選択 -ンシップ 学外での R発表 る研究発表 表を含む)	日 記入日 令和7/4/30 必修 選択 一ンシップ 学外での 兄発表 る研究発表 表を含む)	日 記入日 令和 7/4/30 記入日 必修 選択 -ンシップ 学外での R発表 表を含む) 790 点 2 級 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日 記入日 令和7/4/30 記入日 / 必修 選択 - ンシップ 学外での R発表 表を含む) 790 点 2級 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日 記入日 令和 7/4/30 記入日 / / 必修 単位 選択 単位 一ンシップ 日間 学外での 記発表	日 記入日 令和 7/4/30 記入日 / / 記入日 必修 単位 単位 単位 一ンシップ 日間 学外での R発表 表を含む)	日 記入日 令和 7/4/30 記入日 / / ジスト 単位 単位 単位 中位 学外での 記発表 。	

〇学習・教育到達目標の自己点検(達成度について, 5点満点で自己点検をして下さい。)

学習・教育到達	院の自己点快(達成度について、5点満点で目c	自己点検 [^{満足} まずまず ^{不十分}]			
大目標	学習・教育到達目標	1年入学時	2年進級時	2年修了時	
(A) 日本語および英語 のコミュニケーション能力	A-1 技術者として,分かりやすいきちんとした日本語での表現,技術報告書の作成,プレゼンテーションなどができる	4			
	A-2 英語による基本的な表現(英文読解,英作文,英会話) ができる	3			
	A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身に 付ける	3			
(B) コンピュータの基 本的技術およびエ 学への応用技術	B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを 理解し、OS やプログラミング言語に関する基礎的な処 理ができる	3			
	B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる	4			
(C) 電子・情報系技術 の基礎知識・能力	C-1 数学,物理などの基礎的な知識・能力を身に付け、それを工学の分野で利用できる	3			
	C-2 電気磁気学や電子回路などの電子·情報系専門基礎科目 の知識・能力を身に付ける	2			
	C-3 基本的な測定機器の取り扱い,実験技術を身に付ける	2			
(D) 電子・情報系技術 の一分野において 専門技術に関する 知識・能力	D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から 一分野の専門応用技術を身に付ける	3			
	D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身に付ける	3			
	D-3 与えられた課題について,問題解決の過程を通じてデザイン能力を身に付ける	3			
(E) 創造性, チャレン ジ性を発揮できる 素養	E-1 研究計画の立案,研究の進め方,結果の整理・考察などの一連の技術開発手順を学習し、創造性を身に付ける	3			
	E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点を複眼的視点から解決し、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身に付ける	3			
	E-3 知的探究心を持ち、継続的に学習する習慣を身に付ける	4			
	E-4 企業実習, 校内での実習を通じ, 与えられた課題に対す る実践的な能力を身に付ける	3			
(F) 人類への貢献意識 を持ち、広い視野 と倫理観を持った 技術姿勢	F-1 諸外国の言語を学び各国の文化,価値観などに触れるとともに,社会の成立に不可欠な諸条件の基礎的知識を習得することにより,多面的に物事を考え価値観の異なる他者との共存ができる素養を身に付ける	4			
	F-2 スポーツやグループワークを通して協力・連携の意識を育み、社会性・協調性・チームワークカを身に付ける	3			
	F-3 技術が社会および環境に及ぼす影響,技術開発が人類社 会に与える倫理的な問題について理解する	2			